

農業ビジネス経営学特論 (2単位)

担当者氏名 木原高治 鈴村源太郎

◆学習・教育目標 (到達目標を記載)

前半(木原担当)では、経営学の基礎理論について理解を深めていくことを目的とします。具体的には、アメリカ経営学説の系譜とその特色について学び、経営学の基本原理が理解できるようにします。

後半(鈴村担当)では、農業経営学の最新の理論と方法論について、学生相互のディスカッションを通じて習得することを目指します。具体的には、下記テキストに即しながら、最新の農業経営の環境対応行動や経営主体論を学び、現代の農業経営の経営成長や多角化の方向性等が理解できるように学びます。

◆取り扱う領域 (キーワードで記載)

科学的管理法	人間関係論	株式会社論	経営戦略論
農業経営の主体問題	経営成長	農業経営の環境対応	農業経営管理

◆授業の進行等について

	テーマ	内容	準備学習(予習復習)等の内容と分量
1	経営学の基礎理論(第1回から第7回まで)	○科学的管理法の生成と問題点、○人間関係論の生成と現代的意義、○株式会社論の生成と発展、○近代組織論と意思決定、○経営戦略論の展開	テキスト「アメリカ企業経営学説史」の該当箇所を読んでおくこと。
2	農業経営学の最新理論と方法(第8回から第15回まで)	○農業経営を取り巻く環境変化、○農業経営の主体論、○経営管理上の諸問題、○経営成長と事業多角化の方向性	テキスト「農業経営学の現代的眺望」の該当箇所を事前に読んでおくこと。 (両講師の授業とも、予習は毎回1時間、復習は1時間以上しておくことが望ましい。)

◆教科書及び資料 (授業前に読んでおくべき本・資料)

書名／著者／発行所 (発行年)

アメリカ企業・経営学説史/角野信夫/文真堂(1996)

農業経営学の現代的眺望/李哉玄・内山智裕・鈴村源太郎・八木洋憲編/日本経済評論社 (2014)

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所 (発行年)

◆評価の方法 (レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト)

木原はレポート(60%)発言(40%)とします。鈴村はレポート(70%)、発言点(30%)とします。

◆オフィスアワー

木原は火曜日を除く 16:20~17:00、鈴村は水曜日・金曜日 14:00~16:00 (出張等もあり得ることから事前に連絡をしてください)。

◆その他受講上の注意事項